

台風災害に備えましょう



台風がもたらす暴風や集中豪雨による災害が心配される季節となりました。特に9月は、最も危険な月で、台風が発達しやすく、日本列島に上陸または接近する可能性が高いため、風雨による大規模災害が発生する危険性があります。台風の接近に備えて、家の周囲の点検や非常用持ち出し品の準備、避難所の確認などをおこなってください。また、留守家族との連絡方法についても確認を忘れないようにしてください。

■ 台風による風の特徴

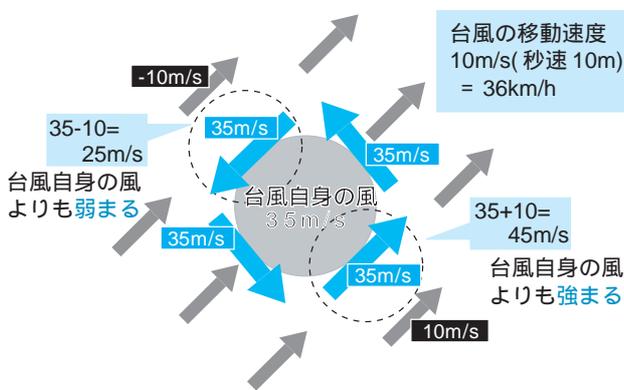
台風は巨大な空気の渦巻になっており、渦巻きの中心に向かって猛烈な風が吹きます。

特に右半円では、左半円に比べて強い風が吹くという特徴があります。

これは、台風の風が反時計回りに吹き込んでいることにより、進行方向に向かって右半円は台風自身の風と台風を移動させる風が同一方向となり、猛烈な風が吹きます。逆に左半円は台風自身の風と台風を移動させる風が逆となるため、右半面に比べると若干風が弱くなります。(下図参照)

■ 台風による雨の特徴

台風は、積乱雲が数多く集まって形成されたもので、多量の水分を含んでいることから、広い範囲に強い



雨を長時間にわたって降らせません。さらに、日本付近に前線が停滞していると、台風により南の海上から流れ込んだ暖かく湿った空気が前線を刺激し、大雨を降らせません。

■ 台風が近づいたら

台風の接近は、事前に規模や襲来時間などを予想できませんが、自分で規模などを判断しないでテレビやラジオなどの気象情報や市の情報、広報に十分注意を払ってください。

市では、災害に備えて右下表の施設を自主避難場所として開設します。自主避難所の開設は、広報車などでお知らせしますので、災害の危険や不安を感じた人は避難所に避難してください。その後、予想される災害の規模に応じて、避難勧告、または避難指示を発令し、該当地区の避難所を開設します。

市から避難勧告などを発令した場合、該当地区の人には市の広報車や消防団などによりお知らせします。

なお、広報車の内容が聞き取りにくい場合は、「防災広報ダイヤル」や市のホームページ (<http://www.city.hikari.lg.jp>) をご利用ください。避難所情報等を知ることができます。

防災広報ダイヤル

☎ 0833(72)1410

地区名	自主避難場所	電話番号
牛島	牛島公民館	0833(79)3198
室積	室積公民館	0833(78)0013
光井	総合福祉センター	0833(74)3000
	光井公民館	0833(72)1446
島田	地域づくり支援センター	0833(72)8880
浅江	浅江公民館	0833(72)1431
三井	三島公民館	0833(77)0411
周防	周防公民館	0833(77)2022
大和全域	大和公民館	0820(48)2411

台風に向けて心掛けてください

テレビやラジオなどの気象情報や市からの情報に注意を払う。
物干し竿や植木鉢など飛ばされやすい物は屋内に片付けるか、しっかりと固定する。
風に備えて、雨戸を閉めるか、窓にガムテープを貼っておく。
雨に備えて、排水溝や、樋とびなど、水の流れ道を掃除しておく。
停電に備え、懐中電灯やラジオ、予備の電池を用意しておく。
非常持ち出し品の準備、チェックをしておく。
留守家族との連絡先を確認しておく。
避難の際は、単独行動を避け、複数人数で避難する。